

「全鍍連」 2020年 8月号 巻頭言

全鍍連 常任理事 石崎 利一（墨田硬質クローム鍍金(有) 代表取締役社長）

「New Normal 困難な時代 With Corona」



日頃より全国鍍金工業組合連合会の会員の皆様には大変お世話になっております。

今回、コロナ禍の影響により全国のめっき事業者が多大な影響を受けている中での寄稿と成りました。

私の現在の役職は東京都鍍金工業組合においては副理事長、全国鍍金工業組合連合会においては常任理事を仰せつかっておりますが、その中で技術委員会を担当しております。例年ですと「めっきコンクール」の最盛期を迎えておりますが、今年は先日の技術三役会において中止の決定をさせて頂きました。皆様に課題をご提出頂くことが可能としても、大勢の審査委員が全国から集まり「密」な状態で審査を行うことは感染リスクを考慮すると中止との結論に至りました。コンクールを楽しみにされていた皆様には大変に申し訳なく思っております。因みに、東京都鍍金工業組合においては高等職業訓練校、技能検定が早々と中止の決定をいたしました。更に、正副理事長会、理事会も中止となり組合活動は殆どの行事が中止となっております。このように何でもかんでも中止、中止では息苦しくなってきます。皆様の所属する組合は如何ですか？

話は変わって、皆様の事業に関しては如何ですか？ 大方のめっき事業者は今回のコロナ禍の影響で大きく減収減益と思われれます。地域や業種によっても濃淡はあると思いますが、この状況下で絶好調の事業者は有るのでしょうか？ 弊社においてもかなりの影響が出ております。資金繰りへ不安から借入れも考えますが、いつまで続くか分からない、先の見通しが立たない中での借入れは結局返済に窮する事になるため躊躇せざるを得ません。国や地方自治体は各種補助金、助成金の用意はしてくれますが使いやすいものはなかなか有りません。大手のメーカーはそれなりに政府の助成が有るようですが我々の様な中小零細企業では国は見向きもしてくれません。

まあ、愚痴はこの辺にして（いくら愚痴っても何も変わらないので・・・）ところで、皆さんは日常の生活は如何ですか？ 私は通常で有れば週に二回から三回は何らかの会合で外出しておりました。ところが、コロナ禍の影響で殆ど出かけることが無くなりました。初めの頃はなんだか家でも居心地が悪く感じていたのですが、慣れてくるとこれが普通の生活だと思えるように成りました。最近の東京の感染状況を見ていると（この原稿は7月4日に書いています）かなりの数に上っています。今後の推移を見なければ分かりませんが、第二波、第三波とコロナが蔓延しないことを祈るばかりです。

皆様も New Normal での行動を心がけ、旧スタイルでの行動は控えて次回皆様に笑顔でお会い出来るのを楽しみにしております。

最後に成りますが With Corona で有ることをお忘れ無く。